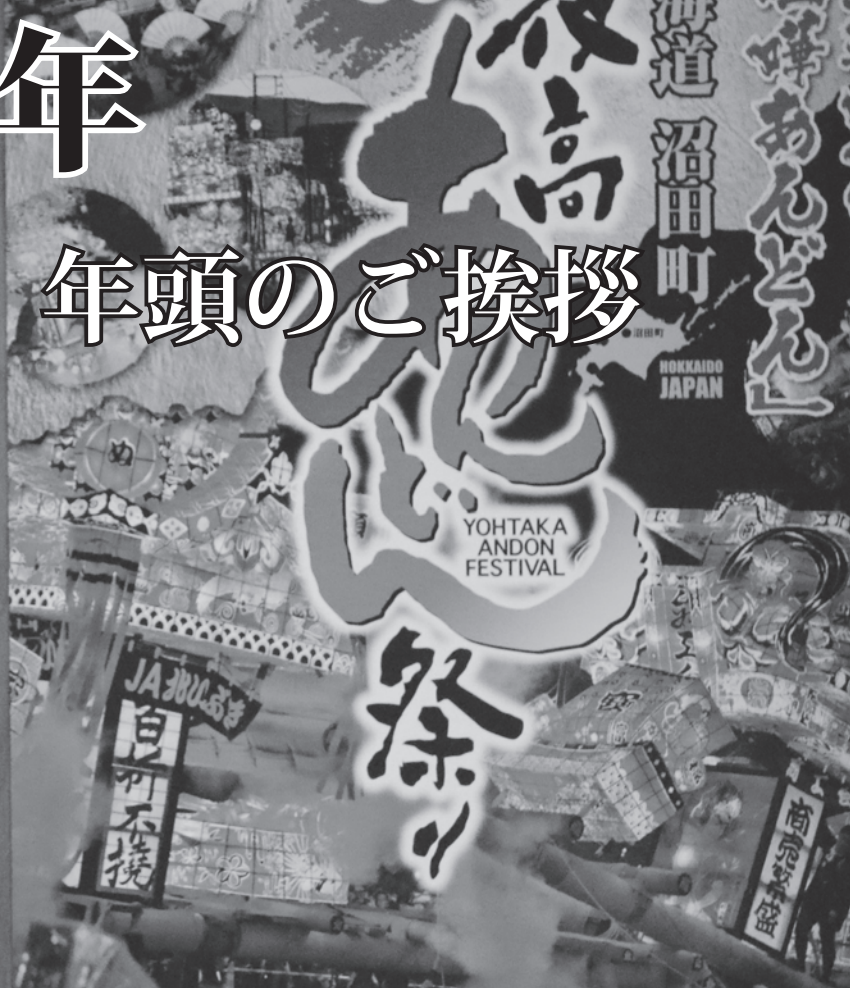


謹賀新年

年頭のご挨拶



沼田町長 金平嘉則

新年、明けましておめでとうござい
ます。日頃より町行政運営に対しご理
解とご協力をいただいておりますこと
に、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、本町の基幹
産業であります農業につきましても、
6月からの低温・日照不足、7月豪雨
災害などにより収量及び品質ともに平
年を大幅に下回る結果となり、今年の
天候に期待を寄せるところであります。

また近年、全国的に災害が頻発する
中、本町においても7月には大雨によ
る農地災害、9月には台風21号に伴う
暴風被害と北海道胆振東部地震による
全町停電が発生し、幸いに本町におい
ては人命に関わる被害はございません
でしたが、日頃からの備えの重要性に
ついて再認識したところでもあります。

平成30年度は町づくりの指針であり

ます「第5次沼田町総合計画」の最終
年度であり、昨年6月より様々な実証
運行などの結果を踏まえ、新たな地域
公共交通として「乗合タクシー事業」
をスタートし、11月末では延べ4千人
以上の皆様に利用され、今後も地域公
共交通の要として浸透されていくもの
と思っております。また、新たな事業
として近隣の高校生を対象とした地元
企業10社が参加した企業説明会「ぬま
わーく2018」を開催したところ高
校生80名の参加があり、盛況のうちに
終了することができ、今後もこのよう
な取り組みを通して沼田町内での雇用
促進・移住定住に繋がることに期待す
るところであります。

一昨年、平成29年の人口は12名の社
会増（転入超過）となりましたが人口
数の維持には至らず、少子高齢化と過
疎化が進む環境は、町政運営にとって
決して容易なものではなく、町民一丸
となつてふるさと「沼田町の魅力」を
高め、情報を発信していくことが必要
と考えております。

「平成」の元号が4月で終わる本年が、
町民皆様にとつてご健康で充実した実
り多い一年となることを心からご祈念
申し上げます、年頭のご挨拶とさせていた
だきます。

沼田町議会議長

渡邊敏昭



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご健勝で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の農業情勢は、春からの低温長雨、日照不足に加えて、7月3日の豪雨に見まわれまして、十分な回復が出来ないままに秋の収穫を迎えることとなり、本町においては、稲作も畑作も不作の年となってしまいました。

これも、地球規模での温暖化の影響と思われる、日本各地で異常気象による被害を受けました。また、9月6日の胆振東部において、予期せぬ大地震が起り、北海道経済に深刻な影響を及ぼしました。道内観光地においては、未だ以前のように大勢の観光客が訪れることが無く、風評

被害も収まらない状況であります。

さて、今年は4月で「平成」が終わり、新たな年号が始まります。本町においては、第5次沼田町総合計画が平成30年度で終了し、これまでの課題や問題点を見直し、第6次の総合計画が動き出します。本町議会におきましても、既に地方創生調査特別委員会を設置し、これまでの検証と今後の課題について調査を行い、意見を取りまとめたところであります。

これからの沼田町は、人口減少の時代の中で、いかに農業や商工業の活性化を図っていくかを皆さんと共に考え、町の努力で少しずつ増えて来た社会人口を今後も絶やさずに、沼田の特色を活かした環境づくりを進めることが大切と思います。特に、子育て世代が安心して暮らせる町づくりが重要で、そのためには町が進めるコンパクトで暮らしやすい町づくり「コンパクトエコタウン」を皆さんと共に早く具現化していくことが必要と考えます。

当議会としても、今後も国政政策や町政課題を要望書や意見書にまとめ、内閣や関係部局に提出し要望活動を進めてまいります。そして、今後町民の付託に応えられます様、努力することを誓うとともに、皆様方の変わらぬご指導をただけまことをお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

沼田消防団長

大原正己



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと思います。また、日頃より我々消防団の活動に多大なご理解とご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

昨年は台風や集中豪雨など異常気象ともいふべき局地的な自然災害が相次ぎ、多くの市町村に甚大な被害をもたらしたことは記憶に新しいところではありますが、当町におきましても大自然の猛威を受け、7月には蝦夷梅雨前線の影響で集中豪雨が発生し一部地域に避難勧告、9月には台風21号が道内を横断し大きな被害を受けたかと思う間もなく、翌日の深夜には北海道胆振地方中東部を震

源とする最大震度7の大地震が発生し各地域に被害をもたらす、道内全域で初の大規模な停電が起きるといふ「ブラックアウト」が発生し地域住民の生活を脅かす状態が続発した一年でありました。また、昨年の火災概況を振り返ってみますと12月1日現在で1件の火災が発生しましたが、早期の発見通報と敏速な対応をしていただき被害を最小限に抑えられました。深川地区消防組合管内の火災発生件数も14件と前年同期（21件）の発生件数を大きく下回りました。このことは地域住民一人ひとりの防災意識の高さの表れであり、今後も火災発生を未然に防ぐためにも火災予防に対する啓蒙並びに住宅用火災警報器の設置促進、適正管理に努めて参ります。

近年、地球温暖化を始めとする自然環境の変化で様々な災害が相次いでおり、町民からの安全、安心に対する消防団員に寄せられる期待はますます大きくなっていきます。

沼田消防団といたしましては、関係機関、町内会自主防災組織などと協力し、総合的な地域防災力の充実・強化を図り、全力を挙げて取り組んで参ります。

結びに、この1年が無火災、無災害でありますと共に、町民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

深川警察署
沼田警察庁舎所長

嵯峨康成



新年あけましておめでとございませう。

沼田町の皆様には、平素から交通安全、暴力追放、青少年の健全育成のほか、犯罪予防のための諸活動にご参加いただいていることに対し厚く御礼を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、当沼田警察庁舎は一昨年4月から深川警察署との統合により新たなスタートを切らせていただき、統合前に比べてパトロール活動が強化され、刑法犯の認知件数や交通事故の発生件数が減少する

など期待された統合の効果が認められているところでございます。

さて、昨年の治安情勢を振り返りますと、沼田町では刑法犯の認知件数は前年に続き減少し、また交通事故死ゼロの連続日数も更新されており、これも各関係機関や町民の皆様のご支援ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

しかし、7月に豪雨による水害、そして9月には地震、停電が発生しており、また、道内では高齢者被害の特殊詐欺や悲惨な交通事故死亡事故が依然として後を絶たないなど警察を取り巻く諸情勢は楽観を許さない状況です。

このようなことを踏まえ、深川警察署、そして沼田警察庁舎といたしましても「犯罪や事故の無い安心して暮らせる北海道の実現」に向け、職員一丸となって地域の皆様に寄り添いながら治安維持に邁進する所存ですので、これまでと同様にご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、沼田町の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

沼田弾薬支処長兼
沼田分屯地司令

池田康二



新春のお慶びをお祝い申し上げます。

沼田町の皆様には、日頃から陸上自衛隊・沼田分屯地に対するご理解、温かなご支援、ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

8月に転勤となり、ここ沼田町にありますが沼田分屯地で勤務となりました。8月下旬には、盛大な夜高あんどん祭りに参加させて頂きましたことは思い返しても心踊る深く印象に残る出来事でした。

9月6日に起きました北海道胆

振東部地震では、停電に伴う暗闇と不便を経験し、ライフラインに対する日頃からの備えの必要性を痛感する教訓を得ることとなりました。災害の記憶が新しい中、沼田分屯地としましては、皆様の期待に応えるべく、本来任務であります国土防衛をはじめ、各種事態に適切に対処できるよう日々精進して参る所存です。

末筆ながら、沼田分屯地に対する変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、何よりも皆様のご健勝と御多幸、そして沼田町の平和と確かな歩みを祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

